

平成31年度大野南地区地域活性化事業交付金 交付決定事業の概要と評価

申請事業名	防犯・交通安全に関する啓発事業及び支援事業（7年目）
申請団体	特定非営利活動法人 さがみはら市民交番青パト隊
事業目的	JR町田駅周辺の風俗街を復活させない事とともに、周辺地域の防犯や交通安全活動を目的とする。具体的には地域住民やボランティアの協力を得て、週4回の青色パトロールカーに依る啓発活動を行っている。
交付決定日	平成31年4月25日
交付決定額 (事業費)	180,000円(決算362,559円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <p>防犯・交通安全は市民の安心安全に欠かせない。そのための啓発活動及び行政支援活動を、青色灯搭載パトロール車に依り今年度200回行った。頻度は週当たり3日~5日で、1クルー2名あるいは3名が乗務し、録音アナウンスあるいは直接マイクにて、防犯や交通安全を呼びかけた。</p> <p>若い活動参加者を増やすことが課題であり、活動隊員募集と広報を目的にホームページを立ち上げ活用している。</p> <p>自己評価</p> <p>振り込め詐欺などの特殊詐欺への啓発活動は、大野南地区全域を拡声器で行っている。一時的なものでなく、発足以来7年間継続して行っていることで、相当に周知されたものと自負している。また、児童の登下校見守りも南大野小学校と鶴園小学校ではなじみの活動と言えるまでになった。特に、青パトを伴っての登下校見守りは、子供たちにも、運転者にとっても安全配慮の面で効果は大きいと思う。この様子をホームページで紹介することは、全国に発信することであり、防犯ボランティアの参考になればと思っている。</p>
市評価	<p>地域の安全・安心を保持することを目的とした青色防犯パトロールの実施は、市民が犯罪に遭わないように防犯意識を高めていくための効果と、犯罪者に対しての犯罪抑止の効果との双方が期待できる有効な手段であると評価できる。</p> <p>設立から7年目を迎え、地域にも浸透した活動となり、来年度からは関係団体からの寄付により、自立できる見込みであることも評価できる。</p>
備考	

申請事業名	地域防災イベント「イザ!カエルキャラバン! in 相模大野」(4年目)
申請団体	大野南地区連合自主防災隊
事業目的	発災時の状況を踏まえ、地域の子どもたちがイザという時に自ら判断し、行動ができるようにするために、これまでなかなか防災訓練に参加しなかった次世代を担う子どもたちや若いファミリー等を対象に、震災時に必要な「技」や「智恵」を身に付けてもらう「楽しみながら防災を学ぶ」をテーマにしたイベントを開催します。
交付決定日	令和元年8月2日
交付決定額 (事業費)	200,000円(決算457,524円)
団体実績報告	<p>事業実績 令和元年11月9日(土)、ポーノ相模大野(ポーノ広場・ポーノウォーク)にて地域防災イベント「イザ!カエルキャラバン! in 相模大野」を開催した。</p> <p>11の訓練を体験することができ、約800名の親子連れや子ども達の参加で大盛況だった。</p> <p>自己評価 今年で4回目ということもあり、開催を楽しみにしてくれているリピーターの子供の参加が多く見られ、イベントも知名度があがってきていることを感じた。スタッフも回を重ねる事により指導が上手くなり、アイデアを出しながらより良いものにしていこうという意識が感じられた。参加者にも運営スタッフ側にも防災について気軽に体験できる地区のイベントとして定着してきたと感じた。</p>
市評価	<p>今まで防災訓練に参加することが少なかった子供たちや、その親が多く参加し、楽しみながら防災について学ぶことができた。継続することで、地域のイベントとして定着してきた。来年度については、自立が望まれる。</p>
備考	

申請事業名	社会問題啓発エンタテインメントステージ事業（2年目）
申請団体	NPO 法人 SoELa
事業目的	心揺すぶるエンタテインメントの手法を用いることで地域の課題を含め社会問題を自分事として捉えてもらい、行動する人々で溢れる地域になるよう啓発活動を行います。地域の課題を多くの方々に発信し、地域活動に無関心な方々が課題を知り、行動に移すきっかけ作りを行う。
交付決定日	令和元年8月2日
交付決定額 （事業費）	100,000円（決算148,940円）
団体実績報告	<p>事業実績</p> <p>今年度は、12月15日（日）、相模大野駅ステーションスクエア自由通路にて、相模原市、大野南まちづくりセンター、神奈川県警本部、南署、神奈川県くらし安全交通課、相模原学生自転車会議、神奈川県立元石川高校 More の協力で開催した。テーマをSDGs11「住み続けられるまちづくりを」とし、自転車事故防止、振り込め詐欺被害防止、いじめ撲滅、受け子などを啓発した。</p> <p>自己評価</p> <p>今回で9回目となる Flare SHOW!。助成金を得ての2回目の実施となる。毎回相模原市、神奈川県警、神奈川県の協力を得て実施しているが、ここ2回は地域や近隣高校とのコラボレーションをステージ展開の柱に据えている。若い世代が社会問題に関心を持ち、自ら啓発しようとする活動を応援し、より多くの方々に情報を発信する場を提供している。</p> <p>今回の感想として、高校生の姿を見ることができてよかった。歌とダンス寸劇などで啓発活動をするのは面白いなどのご意見をいただいた。来期は、相模原市、県警との連携をより強化して開催を継続したい。</p>
市評価	<p>エンタテインメントの手法を用いることで、地域活動に無関心な方にも関心をもってもらう機会を提供することができた。</p> <p>また昨年度よりも観客が増加しており、継続することで地域にイベントが浸透してきたことも要因と思われる。</p> <p>今後は自立に向けて、財源の確保が期待される。</p>
備考	

申請事業名	大野南地区子育てマップ製作事業（3年目）
申請団体	大野南地区子育てマップ委員会
事業目的	子育てマップの製作・配布を通し、大野南地区在住の子育て世代への情報を発信し 子育ての不安解消に投立てる。
交付決定日	令和元年10月3日
交付決定額 （事業費）	260,000円（決算260,412円）
団体実績報告	<p>事業実績 2か月間かけ、情報の実態調査や子育て世代の求める情報を調査した。 地図上に配置する時は、情報を取り出しやすいよう修正を重ねた。 また、配布場所は必要としてくれている人たちに届くような場所を選んだ。</p> <p>自己評価 交付決定時に意見としてあった「インターネットを活用した方法」については、インターネットでは検索しにくい情報を掲載することを目的としており、十分な時間もなかったため、今回は見送ることとした。 あくまで紙の地図を作成することに専念し、実際に現地調査も行って情報収集した結果、インターネットの地図とは異なった情報を提供することができた。</p>
市評価	<p>平成25年度にマップを製作し、平成28年に更新、増刷したが、在庫が少なくなったこと及び情報が大きく変化していることから、再び更新と増刷が行われた。 子育て世代の目線を意識しながら、見やすくコンパクトな地図を作成し、定期的に情報の更新も行われているものであり、公益性や社会貢献度は極めて高いものと評価できる。</p>
備考	

申請事業名	地域防災事業（２年目）
申請団体	谷口防災委員会
事業目的	大地震発生後、安全確認ができた家に黄色い小旗を掲示することで、安否確認を容易にし、自助共助を行いやすくする。
交付決定日	令和元年１０月３日
交付決定額 （事業費）	１，０４３，０００円（決算１，０８５，８１０円）
団体実績報告	<p>事業実績</p> <p>各自治会に黄色い小旗を送付し、各自治会長から各世帯に事業内容の説明と配布をしてもらった。黄色い小旗を希望する自治会に配布することで、大地震発生後の安否確認が容易になり、大野南地区内の防災力の向上に貢献した。</p> <p>自己評価</p> <p>黄色い小旗を希望する自治会に配布することで、谷口自治会以外の地域についても大規模地震発生直後の自助、共助がおこないやすくなった。</p> <p>今後も黄色い小旗を活用し、防災力の向上に努めていきたい。</p>
市評価	<p>黄色い小旗を配布することで、大野南地区内の防災力向上に貢献したと思われる。</p> <p>今後は、自治会間で情報交換を行い、より効果的に黄色い小旗が活用されていくことが望まれる。</p>
備考	

申請事業名	交通安全啓発事業（3年目）
申請団体	大野南地区交通安全母の会
事業目的	地域住民や児童に対し視覚的に訴えることで交通安全に対する意識の向上を図り、地域から一件でも交通事故を減らし、安全で安心して暮らすことができる地域にする。
交付決定日	令和元年12月17日
交付決定額 （事業費）	200,000円（決算201,762円）
団体実績報告	<p>事業実績</p> <p>交通安全の普及・啓発を目的とし、地区内の小中学校の児童・生徒から「交通安全を呼びかけるポスター・標語」の募集を行っており、毎年すばらしい作品が数多く応募されている。入賞作品は、南区合同庁舎や公民館、相模原南警察署で展示している他、作品集を作製し関係者に配布している。</p> <p>更に今年は金賞を受賞したポスターの作品に、標語の金賞作品も盛り込み、自治会の掲示板や地区内小学校等に掲示するポスターとして作製し、より多くの方に交通安全について考える機会になるよう、啓発活動に活かしている。</p> <p>自己評価</p> <p>交通安全に対する子ども達の思いが込められたポスターや標語が、大野南地区全体に掲示されることにより、地域一丸となって交通事故防止について考えるきっかけになったと思われる。</p>
市評価	<p>大野南地区は南区内でも交通事故発生件数が多い地区となっており、交通安全に対する意識向上が求められている。</p> <p>このような中、人目に付きやすい場所に交通安全を呼びかけるポスターを掲示することで、交通安全に対する意識向上に貢献していると思われる。</p> <p>本事業は3年目を迎え、地域にも浸透してきているが、今後は自立へ向けて財源の確保が望まれる。</p>
備考	

申請事業名	にほんごの会設立 30 周年記念事業（1 年目）
申請団体	にほんごの会
事業目的	<p>事業を通して日頃、接点のない外国人と地域の方々との交流を図りたい。</p> <p>交流による相互理解を深め、文化の紹介や防災活動への参加等を進め、日々安全で住みやすい地域づくりを共に推進していきたい。</p>
交付決定日	令和元年 12 月 17 日
交付決定額 （事業費）	50,000 円（決算 4,080 円）
団体実績報告	<p>事業実績</p> <p>30 周年記念事業として実行委員会を立ち上げることを決定し、事業内容を「地域との交流」を目標に以下の内容とした。</p> <p>外国人によるスピーチ、「えいごであそぼ」の子ども達の発表、チャイの作り方、来場者との交流。</p> <p>当日のプログラム、ちらし作成、招待者等を検討してきたが、新型コロナウイルスの影響でやむなく延期となった。</p> <p>自己評価</p> <p>残念ながら延期となったが、30 年間毎週金曜日（南保健センター）と土曜日（地域福祉交流ラウンジ）に開いてきた日本語教室は、当初の南文化センターから考えると、社会的認知度も高まり、それなりに学習者のニーズも変化している。30 年を一つの節目として、より地域に開かれた学びと交流の場を皆で作り上げていきたい。</p>
市評価	<p>新型コロナウイルスのため当日のイベントは延期となってしまったが、今年中にイベントを開催する予定であり、今年度に準備してきたおかげで、より良いイベントが実施できるとの報告を受けている。</p> <p>準備の期間が延びたことで、事業内容の改善や、団体内での連携強化、イベント周知の機会の増加などが見込まれるため、今年度の活動も無駄ではなかったと評価できる。</p>
備考	